



第1編

総括

■第1編 総括

■第1章 計画人口、事業費評価及び施策評価について■

○計画人口について

第一次基本計画策定時(平成13年4月)に実施した人口推計では、平成22年(2010年)の計画人口を474,000人としたが、平成22年国勢調査結果(速報値)によると市川市常住人口は474,926人であり、ほぼ計画通りの人口であった。

しかしながら、実施計画策定時(平成20年4月)では、平成17年度国勢調査人口(速報値)をもとに推計された平成22年(2010年)の計画人口を476,000人としており、△1,074人(△0.2%)下回っている。

○事業費評価について

第三次総合3ヵ年計画の計画事業費と実績額

(上段()内は計画額、下段は実績額)

(単位:千円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	3ヵ年合計
基本目標1 真の豊かさを感じるまち	(2,883,803) 4,515,947	(3,515,663) 3,524,309	(4,509,449) 4,696,429	(10,908,915) 12,736,685
基本目標2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち	(51,879) 51,438	(242,734) 76,866	(98,448) 345,954	(393,061) 474,258
基本目標3 安全で快適な魅力あるまち	(29,155,652) 26,886,562	(7,333,710) 8,535,601	(11,056,209) 6,914,905	(47,545,571) 42,337,068
基本目標4 人と自然が共生するまち	(684,820) 575,901	(1,384,876) 179,685	(1,180,254) 464,781	(3,249,950) 1,220,367
基本目標5 市民と行政がともに築くまち	(82,950) 58,828	(75,332) 62,864	(74,165) 43,949	(232,447) 165,641
合計	(32,859,104) 32,088,676	(12,552,315) 12,379,325	(16,918,525) 12,466,018	(62,329,944) 56,934,019

(年度ごとの支出額及び3ヵ年全体)

3ヵ年計画額 合計 62,329,944千円

実績額 合計 56,934,019千円

対計画額 △5,395,925千円 (△8.7%)

第三次総合3ヵ年計画では、基本目標レベルにおいて計画額と実績額に差が生じたものもあったが、年度別においては概ね計画額どおり、または計画額の範囲内での事業展開となった。

また、3年間の合計についても、計画額の範囲内である。

ただし、本八幡駅北口地区再開発事業(A地区)、国府台緑地整備事業、小塚山公園整備拡充事業、クリーンセンター延命化計画事業などについては、計画した事業内容を平成23年度以降の第一次実施計画へ引き継ぐこととなった。

これらのことを総合的に勘案して、第三次総合3ヵ年計画の事業費については、概ね財政計画どおりであると評価した。

(事業費評価)

3ヵ年の評価	<input type="checkbox"/> 十分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
--------	----------------------------------	---	-----------------------------------	---------------------------------

○施策評価について

実施計画に位置づけられた81事業について、3年間の実績を踏まえた評価を実施した。

(施策別の実実施計画事業評価結果)

	十分達成できた	概ね達成できた	やや不十分だった	不十分だった
真の豊かさを感じるまち	8項目	13項目	4項目	1項目
彩り豊かな文化と芸術を育むまち	3項目	3項目	—	—
安全で快適な魅力あるまち	10項目	14項目	6項目	—
人と自然が共生するまち	4項目	2項目	1項目	2項目
市民と行政がともに築くまち	3項目	6項目	1項目	—
合計	28項目	38項目	12項目	3項目

実施計画に位置づけられた81事業のうち、8割以上の事業は十分達成できた、もしくは概ね達成できたと評価される結果となった。

第三次総合3ヵ年計画に位置けられた事業のうち、平成23年度以降にも実施していく事業については、次に示す新たな選定基準に照らし合わせた上で、第二次基本計画第一次実施計画(平成23~25年度)にも引き続き位置づけを行った。(引き継いだ事業は42事業。内訳は、P9~11を参照)

- ・施策を支える中核的な事業
- ・都市の魅力を高めるために活用できる都市基盤の整備に関する事業
- ・全国に先駆けて行うなど、市川市を特徴づける事業
- ・耐震対策、エネルギー問題など、今日的な問題へ対応する事業

なお、計画額及び目標については、「実情と乖離したものが見受けられる」との意見が、総合計画審議会より出されたため、今後、適切な値となるよう検討する。

一方で、第一次基本計画(平成13年度~平成22年度)の締めくくりとして位置づけられた第三次総合3ヵ年計画は、平成20年度から平成22年度の3年間を計画期間と定められており、サブプライムローン問題に端を発した世界金融危機に直面した時期と重なる。



また、平成20年度には中国製冷凍ギョーザの問題、秋葉原連続殺傷事件、平成21年度には世界的に大流行した新型インフルエンザのパンデミック危機、平成22年度には多くの尊い命が奪われ、今もなお、震災の傷跡は深く残る東日本大震災の発生など、第三次総合3ヵ年計画の3年間は、「安全」「安心」への取り組みに対して非常に高い関心が寄せられた時期でもある。

次章で述べる基本構想に定められた5本の柱ごとの施策評価は「真の豊かさを感じるまち」「彩り豊かな文化と芸術を育むまち」、「安全で快適な魅力あるまち」の3基本目標については概ね達成できたと評価し、「人と自然が共生するまち」及び「市民と行政がともに築くまち」については、やや不十分だったと評価した。

かつてのような高い経済成長に伴う税収の増加を見込むことができない中で、健全な財政運営を維持し、市川市制70年余で培ってきた文化のまちとしての誇りの継承、健康づくりに向けたまちづくり、子育て支援対策、都市の再整備、市民の安全、安心に向けた取り組みなどを総合的に判断した結果、第三次総合3ヵ年計画全体については、概ね達成できたと評価した。

(施策評価)

3ヵ年の評価	<input type="checkbox"/> 十分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
--------	----------------------------------	---	-----------------------------------	---------------------------------

■第2章 基本目標別 事業費評価及び施策評価■

(基本目標1 真の豊かさを感じるまち)

◆事業費評価◆

3カ年計画額 合計 10,908,915千円

実績額 合計 12,736,685千円

対計画額 +1,827,770千円 (+16.8%)

(主な増減理由)

(単位：千円)

	(計画額)	(実績額)	(差 額)
○市川浦安市民病院民営化	未定	1,732,776	1,732,776
○保育園整備計画事業	281,235	994,654	713,419
○妊婦健診の公費負担拡大	690,153	1,100,708	410,555
○教育施設耐震改修事業	2,339,368	2,717,162	377,794
○スポーツ施設整備事業	950,456	309,794	△640,662
○特定健康診査・保健指導事業	1,643,282	1,127,227	△516,055

3カ年の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分達成できた	<input type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
--------	---	----------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------

「基本目標1 真の豊かさを感じるまち」については、計画額を上回る実績額となったが、主な理由は計画額の「未定」を0千円としてカウントしていたことによるものであり、このことを控除すると基本目標全体の執行率は100.8%であることから、ほぼ計画通りと考え、財政上は「十分達成できた」と評価した。

なお、平成23年度以降の第一次実施計画においては、安易に計画額を「未定」として取扱うことのないよう、注意していく必要がある。

●施策評価●

「基本目標1 真の豊かさを感じるまち」については、「十分達成できた」が8項目、「概ね達成できた」が13項目、「やや不十分だった」が4項目、「不十分だった」が1項目であった。

十分達成で た	概ね達成できた	やや不十分だった	不十分だった
8項目	13項目	4項目	1項目

3カ年の評価	<input type="checkbox"/> 十分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
--------	----------------------------------	---	-----------------------------------	---------------------------------

やや不十分だったとした事業のうち、「2.特定健康診査・保健指導事業」については、特定健康診査の受診率が目標値を下回ったことから、今後、更なる啓発、周知を図っていく。「6.子育て支援地域創設事業(親子つどいの広場)」については、7ヶ所の設置予定が4箇所となったが、地域子育て支援センターを21年度に2箇所、22年度に2箇所設置し、子育て支援事業の充実強化を図っていく。「17.教育施設耐震改修事業」については、引き続き平成23年度以降の第一次実施計画に位置づけ、進捗管理を図っていく。「18.家庭教育学級運営事業」については、目標とした参加延べ人数を下回ったことから、講座内容の充実を図っていく。

不十分だったとした「21.社会教育施設整備事業」については、県立現代産業科学館の広範な活用を目指したものであったが、協議の結果、活用範囲及び財政負担等の観点から、取得を断念したものである。その他の事業については、十分もしくは概ね達成できたとしているため、「真の豊かさを感じるまち」に関する施策については、概ね達成できたと評価した。

(基本目標2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち)

◆事業費評価◆

3カ年計画額 合計 393,061千円

実績額 合計 474,258千円

対計画額 +81,197千円 (+20.7%)

(主な増減理由)

(単位：千円)

	(計画額)	(実績額)	(差 額)
○史跡整備保存事業	361,721	440,096	78,375

3カ年の評価	<input type="checkbox"/> 十分達成できた	<input type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
---------------	----------------------------------	----------------------------------	--	---------------------------------

当該基本目標は計画額を2割ほど上回る実績となっていることから、財政上は「やや不十分だった」と評価した。

なお、「基本目標2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち」の事業費は9割以上が「史跡整備保存事業」であり、地権者等、関係者との協議もあることから、財政計画は非常に困難であると認識している。一方で当該事業の事業費は7割以上が特定財源によって構成されている。

平成23年度以降の第一次実施計画においては、事業費全体のほか、財源内訳についても進捗管理していく必要がある。

●施策評価●

「基本目標2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち」については、「十分達成できた」が3項目、「概ね達成できた」が3項目であったことから、基本目標全体については、概ね達成できたと評価した。

十分達成できた	概ね達成できた	やや不十分だった	不十分だった
3項目	3項目	—	—

3カ年の評価	<input type="checkbox"/> 十分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
---------------	----------------------------------	---	-----------------------------------	---------------------------------

(基本目標3 安全で快適な魅力あるまち)

◆事業費評価◆

3カ年計画額 合計 47,545,571千円
 実績額 合計 42,337,068千円
 対計画額 △5,208,503千円 (△11.0%)

(主な増減理由)

(単位：千円)

	(計画額)	(実績額)	(差 額)
○市川駅南口地区第一種市街地再開発事業	19,663,969	21,499,491	1,835,522
○本八幡駅北口地区再開発事業 (A 地区)	5,633,900	3,016,000	△2,617,900
○地域コミュニティゾーン整備事業	1,353,000	168,086	△1,184,914
○広尾防災公園整備事業	5,549,742	4,888,502	△661,240
○浸水対策事業	662,000	173,987	△488,013
○都市計画道路3・4・18号整備事業	3,923,247	3,515,439	△407,808

3カ年の評価	<input type="checkbox"/> 十分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
--------	----------------------------------	---	-----------------------------------	---------------------------------

「基本目標3 安全で快適な魅力あるまち」については、計画額を下回り、執行率は89.0%の実績額となった。主な理由は本八幡駅北口地区再開発事業において、経済不況などから工期が変更となったこと、地域コミュニティゾーン整備事業において、地権者との調整に期間を要したことなどから、第三次総合3カ年計画で設定した計画額に達しなかったものである。

また、市川駅南口地区第一種市街地再開発事業については、事業計画の変更により平成19年度に支出を予定していた特定建設業者に支払うA街区特定建設業者負担金が第三次総合3カ年計画期間である平成20年度へ繰り越されたことなどから、事業として9.3%の増額となった。

当該実施計画に位置づけられている30事業のうち計画額を超過した事業は6事業であった。

事業の進捗の遅れなどによるものもあるが、全体としては計画額の範囲となったこと、また、経済不況や関係者協議等が予算未執行理由になっていることなどから、財政上は「概ね達成できた」と評価した。

●施策評価●

「基本目標3 安全で快適な魅力あるまち」については、「十分達成できた」が10項目、「概ね達成できた」が14項目、「やや不十分だった」が6項目であった。

十分達成できた	概ね達成できた	やや不十分だった	不十分だった
10項目	14項目	6項目	—

3カ年の評価	<input type="checkbox"/> 十分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
--------	----------------------------------	---	-----------------------------------	---------------------------------

やや不十分だったとした6事業のうち、「36.耐震診断助成事業」、「39.都市基盤河川改修事業(大柏川)」、「59.商店街活性化事業」、「62.市川漁港整備事業」の4事業については、引き続き平成23年度以降の第一次実施計画に位置づけ、進捗管理を図っていく。「40.浸水対策事業」については、第一次実施計画では「排水路整備事業」及び「排水施設整備事業」として、施設整備と面整備に総合的に取り組んでいく。「54.地域コミュニティゾーン整備事業」については、今後も調査及び地権者との交渉を継続していく。その他の事業については、十分もしくは概ね達成できたとしているため、「安全で快適な魅力あるまち」に関する施策については、概ね達成できたと評価した。なお、「46.都市計画道路3・4・18号整備事業」、「55.本八幡駅北口地区再開発事業(A地区)」等、第三次総合3カ年計画期間内に終了しなかった事業については、引き続き第一次実施計画において進捗管理を行っていく。

(基本目標4 人と自然が共生するまち)

◆事業費評価◆

3カ年計画額 合計 3,249,950 千円

実績額 合計 1,220,367 千円

対計画額 $\Delta 2,029,583$ 千円 ($\Delta 62.4\%$)

(主な増減理由)

(単位：千円)

	(計画額)	(実績額)	(差 額)
○クリーンセンター延命化計画事業	1,691,000	570,162	$\Delta 1,120,838$
○国府台緑地整備事業	874,103	536,394	$\Delta 337,709$
○小塚山公園整備拡充事業	332,33	0	$\Delta 332,33$

3カ年の評価

十分達成できた概ね達成できたやや不十分
だった不十分だった

「基本目標4 人と自然が共生するまち」については、計画額を大きく下回る実績額となった。

これは、クリーンセンター延命化計画事業において、工事着手を平成21年度から平成22年度に1カ年繰り越したこと、また、国府台緑地整備事業において、用地取得が計画より遅延したこと、小塚山公園整備拡充事業において、計画期間内に用地取得が行われなかったことなどによるものである。

地権者等との協議、交渉の結果による未執行もあるが、実施計画全体での執行率は非常に低いことから、財政上は「やや不十分だった」と評価した。

●施策評価●

「基本目標4 人と自然が共生するまち」については、「十分達成できた」が4項目、「概ね達成できた」が2項目、「やや不十分だった」が1項目、「不十分だった」が2項目であった。

十分達成できた	概ね達成できた	やや不十分だった	不十分だった
4項目	2項目	1項目	2項目

3カ年の評価

十分達成できた概ね達成できたやや不十分
だった不十分だった

不十分だったとした事業のうち、「66.南行徳水辺の周回路計画」については、平成22年度の整備完了を目指したが達成できなかったため、不十分だったと評価した。

9項目中、3項目がやや不十分、不十分だったことを鑑み、「人と自然が共生するまち」に関する施策については、やや不十分だったと評価した。

なお、やや不十分だったとした事業のうち、「65.国府台緑地整備事業」、不十分だったとした「64.小塚山公園整備拡充事業」及び概ね達成できたとした「71.クリーンセンター延命化事業(平成25年度完成予定)」等、第三次総合3カ年計画期間内に終了しなかった事業については、引き続き第一次実施計画において進捗管理を行っていく。

(基本目標5 市民と行政がともに築くまち)

◆事業費評価◆

3カ年計画額 合計 232,447千円
 実績額 合計 165,641千円
 対計画額 △66,806千円 (△28.7%)

(主な増減理由)

(単位：千円)

	(計 画 額)	(実 績 額)	(差 額)
○市川情報化市民パートナー育成推進事業	75,244	20,624	△54,620

3カ年の評価	<input type="checkbox"/> 十分達成できた	<input type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
--------	----------------------------------	----------------------------------	--	---------------------------------

「基本目標5 市民と行政がともに築くまち」については、計画額を下回る実績額となった。これは、市川情報化市民パートナー育成推進事業において IT 講習会受講者の減により計画額を下回ったことなどによるものである。

実施計画全体での執行率は低いことから、財政上は「やや不十分だった」と評価した。

なお、第三次総合3カ年計画においては、市民参加や大学との連携など、職員人件費等マンパワーで支えることにより計画額を0円とする事業(予算事務事業を伴わない取り組み)についても、実施計画への位置づけを行った。第一次実施計画においても引き続き予算事務事業を伴わない取り組みについて実施計画に位置づけ、進捗管理を行っていく。

●施策評価●

「基本目標5 市民と行政がともに築くまち」については、「十分達成できた」が3項目、「概ね達成できた」が6項目、「やや不十分だった」が1項目であった。

十分達成できた	概ね達成できた	やや不十分だった	不十分だった
3項目	6項目	1項目	—

3カ年の評価	<input type="checkbox"/> 十分達成できた	<input type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
--------	----------------------------------	----------------------------------	--	---------------------------------

「72.市民参加の推進」については、パブリックコメント実施回数及び公募市民が参画している審議会等の割合を目標に掲げたが、平成21年度以降において未達成となったことから、やや不十分だったと評価した。

市民参加、市民との協働については、本市が重点的に取り組むべき事項であることを鑑み、「基本目標5 市民と行政がともに築くまち」に関する施策については、やや不十分だったと評価した。